あふりね通信

相模原市立相陽中学校
学校だより　　第６号
令和８年１０月　５日

学校教育目標：心ゆたかで　主体的に行動できる　生徒の育成

相陽祭合唱部門を行いました。

校長　渡部　賢一

９月２９日（火）Ｊ:COM ホール八王子にて、相陽祭合唱部門を行いました。今年度はグリーンホールの改修に伴いいつもと違う場所での開催でありましたが、皆様のご協力で充実した取組を行うことが出来ました。閉会式にて私が話した内容をお伝えします。

『まず初めは１年生の学年合唱でした。初めての経験という中で、ちゃんと歌えるかな、と少し心配していましたが、皆で力を合わせて新しい合唱を作り上げることが出来ました。協力して物事を成し遂げることは大変なことですが、できました。これからもお互いに高めあう集団として成長していって欲しいと思います。

次は２年生です。学年合唱を聴き終えたとき思いました。本当に２年生？こんなに歌えちゃうの？「世界をかえるために」の歌詞が胸にささりました。素晴らしい合唱でした。



最後は３年生です。凄い。大人まではいかないかもしれないけれども大人みたいでした。心を一つにして歌っていました。よくここまでまとまることが出来たなと感動しました。残り少ない中学校生活の後は皆、様々な方面に巣立っていきます。その前にはいくつもの壁が立ちはだかるでしょう。この合唱を聴いて、皆さんならばともに高めあい、支え合って乗り越えていけると確信しました。

皆さんはとても成長しました。自分のよさを実感してください。自分のクラスのよさを実感してください。どのクラスも素晴らしい合唱だったので他のクラスとの比較では、よさが分からなそうです。取組前の自分、取組前の自分のクラスと今を比べて振り返りをしてください。そして褒めてあげてください』

どのクラスもやり切って、成し遂げました。皆がそれぞれの役割を果たしました。やる、ということには困難や辛い思いがついてきます。やらなければ困難も辛い思いもありません。でも困難を乗りこえたからこそ味わうことが出来る幸せな気持ちがあります。その幸せな気持ちを分け合って欲しいと思います。



当日はボランティア等を含め、ＰＴＡの皆様方には多大なるご協力をいただきました。入場受付や誘導等、様々なお仕事をしていただいたおかげで、職員・生徒は集中して行事に取り組むことが出来ました。どうもありがとうございました。

相陽祭合唱部門　～J:com ホール八王子に響いた歌声～

先日、９月 29 日（火）に『WE ARE THE HEROES～全員が主人公、一人ひとりが輝く相陽祭へ～』をメインテーマに、J:com ホール八王子にて相陽祭合唱部門が開催されました。それぞれの歌に込められた想いを、自分たちに重ね精一杯歌う姿に相陽中生のパワーを感じました。そして、相陽中の伝統である『あふりね組曲』の全校合唱も、全校生徒の迫力あるハーモニーがホール全体に響き渡り、圧巻の一言でした。



※　点数集計する段階で誤りがあったため、合唱部門当日の結果発表と順位が異なることをご承知ください。

	１年生	２年生	３年生
最優秀賞	７組:『ハートのアンテナ』	４組：『生きている証』	２組：『今』
優秀賞	５組：『大切なもの』	２組：『地球星歌』	５組：『信じる』
優良賞	４組：『マイバラード』	５組：『空駆ける天馬』	３組：『響き合う命』 ６組：『青い鳥』





体育部門実行委員長　３年７組　座間　結菜さんからのメッセージ

いよいよ、体育部門が近づいてきました。これまで、各クラスで競技の練習をしたり、応援の声をかけ合ったりしながら、一人ひとりが体育祭に向けて準備を進めてきたと思います。私は今回の体育部門を、ただ競技の順位や勝ち負けを競うだけではなく、「みんなで協力し、一人ひとりが本気になれる体育部門」にしたいと思っています。体育部門では、思うように結果が出なかったり、練習がうまくいかなかったりすることもあると思います。しかし、そこで諦めるのではなく、仲間と声をかけ合い、支え合いながら最後まで全力で取り組むことが大切です。また、競技に出る人だけでなく、応援する人や係の仕事をする人など、全員がそれぞれの場所で責任をもって行動することで、体育部門はより良いものになると思います。
誰か一人だけが頑張るのではなく、クラスや学年を越えてみんなで盛り上げ、一人ひとりが「自分も体育部門をつくった」と思える一日にしたいです。そして、勝った人も負けた人も、「楽しかった」「頑張ってよかった」と思える体育祭にしたいです。今日まで積み重ねてきた練習や仲間との時間を大切にし、最後まで諦めず、全力で楽しみましょう。
みんなの力で、最高の体育部門をつくり上げましょう。

